

カフェの開店に向けて接客の仕方を練習する利用者たち

(京都市左京区・真如堂)



市内の障害者支援4センター利用者

京都市内の障害者地域活動支援センター四カ所の利用者たちが十二日から、参拝者をコーヒーや紅茶でもてなす「かふえ水琴窟」を、京都市左京区の真如堂の塔頭・吉祥院で開く。今年で三回目を迎え、紅葉を見にきた参拝者らに好評で、利用者らはオープンに向けて張り切っている。

「YOUYOU館」(北区)、「楽々堂」(左京区)、「つくしハウス」(上京区)、「嘉楽小路つくし」(同)を利用する精神障害者や施設のスタッフ約二十人。YOUYOU館の運営に携わる同院の竹内純照副住職が、紅葉シーズンに参拝者をもてなし、施設の

真如堂でもてなします

12日から飲み物販売

紅葉と一緒にどうぞ

資金づくりにもなればと市内の施設に呼び掛け、二年前から始めた。

真如堂は紅葉の名所で、参拝者は吉祥院の庭からモミジが眺めるほか、庭には水琴窟もある。今年は三十日まで利用者らが交代でコーヒーや紅茶を入れたり、接客を行う。

同館施設長の橋本史人さんは「利用者は仕事をこなすことで自信が深まっている。紅葉を楽しみにするお客さんをしつかりともてなしたい」と意気込んでいる。

コーヒー、紅茶は四百円。問い合わせは同館☎075(495)6085。

(河北健太郎)